

医師会だより



児童虐待防止

増加している児童虐待

児童虐待の悲しいニュースが後を絶ちません。令和元年度に全国215か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は19万3780件で過去最高、前年度比較21%増加も過去最大です。

虐待の種類

- ▽「身体的虐待」本人に対して殴る、蹴るなど
- ▽「性的虐待」子供への性的行為を行ったり強要するなど
- ▽「ネグレクト」家に閉じ込めたり食事を与えないなど
- ▽「心理的虐待」言葉による脅し、家族に対して暴力を振るうなど

早期発見に努める

被害を拡大しないための早期発見や、再発防止も重要です。児童虐待防止法では、第

「あなたの笑顔が必要です！」

大村市医師会潜在看護師研修事業看護師への復職を考えている方、復職のための研修を受けてみませんか。詳しくは大村市医師会まで。

5条に「児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなくてはならない」と記載してあります。

疑いがあれば通告が義務

医師も関係ある者に含まれています。発見したら速やかに児童相談所（児相）などに通告しなければなりません。通告を受けた側は、通告したのが誰かを特定できる情報を漏らしてはならないとも定められています。

しかし、医療機関が通告するケースはそれほど多くないのが現実です。それは医師が児童虐待についての知識を十分に持ち合わせていないことが多く、間違った見方で保護者に迷惑をかけることを心配するからです。これは医師に限らず、全ての福祉関連職種に言えることです。

政府は毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、広報・啓発活動などの様々な取り組みを集中的に実施しています。児童相談所全国共通ダイヤル「189（いちややく）」を設置し、虐待を疑ったら連絡するようにアピールしています。

改正児童虐待防止法

2020年4月から改正児童虐待防止法と改正児童福祉法が施行されています。

- ▽親による体罰禁止
- ▽児相の機能強化策として、子供の一時保護をする職員と、親への支援を行う職員を分離
- ▽医師と保健師をそれぞれ1人以上、各児相に配置するなど盛り込まれています。

関心・知識・協力

我々医師も児童虐待の問題に強い関心を持ち、知識を増やして積極的に協力していく必要があると考えています。しかし、虐待防止には地域の力が何より欠かせません。地域の人たちの子育てに対する協力と見守りが大切です。

大人の鼠径（そけい）ヘルニア

鼠径部と呼ばれる両側の太もも付け根のお腹の中から、腸や脂肪などの内臓を包んでいる腹膜が飛び出し、内臓が出たり引つ込んだりする病気で、多くは腸が出てくることが多いため、「脱腸」と呼ばれます。

原因：鼠径部には、男性では睾丸へつながる血管や精子を送る管が、女性では子宮を支える靭帯が通るための隙間がついています。その隙間は「筋膜」と呼ばれる筋肉のシャッターで埋められています。しかし加齢でシャッターに緩みができ、突風（腹圧）を受けたときにピンと張った腹膜の隙間が次第に広がり、大きな間口（2〜3cm）となって袋状に飛び出してしまいます。

立つと膨らみ、横になると消える

手術だけど短期間の入院

・原因：成人では隙間を工事（手術）で修復するしか方法はありませぬ。鼠径部の皮膚を切開する方法と、お腹の中に腹腔鏡（内視鏡の一種）を挿入する腹腔鏡下手術法があります。どちらも飛び出た袋を切り取り腹膜をピンと張りなおし、シャッターを補強（メッシュという人工の膜を隙間にあて補強）が一般的です。いずれの場合でも短期間の入院ですみませぬ。

【医心伝心】コロナ禍の中、自殺や児童虐待等の殺伐とした悲しい事件が増えています。コロナ終息に今求められるのは、各自の自覚ある行動です。